

令和 4年度予算見積調書(6月補正予算 (第2号))

課室名 畜産安全課
担当名 畜産振興担当

内線 4191

単位：千円

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | |
|--------------------------|--|---------|--|---|--------|------|-------------------------|-----------|-------|-------|
| B 1 | 配合飼料価格高騰緊急対策事業 | | | 一般会計 | 農林水産業費 | 畜産業費 | 畜産振興費 | 畜産物需給対策費 | | |
| 事業期間 | 令和 4年度 | 根拠法令 | 酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律第2条の3、養豚農業振興法第4条、養鶏振興法第19条 | | | 針路 | 12 儲かる農林業の推進 | SDGsゴール | 2 | |
| | | | | | | 分野施策 | 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立 | SDGsターゲット | 2-4 | |
| 1 事業概要 | <p>配合飼料価格の高騰を受け、県内畜産農家では配合飼料の購入費が、経営を圧迫している。 配合飼料価格安定制度の発動が1年以上続いているが農家の購入に係る負担は増加している。 そこで、緊急措置として配合飼料価格の高騰に伴う農家の負担増の一部を助成することで、畜産経営の維持を図る。</p> <p>配合飼料価格高騰農家支援事業 107,452千円</p> | | | <p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 配合飼料価格高騰農家支援事業 107,452千円 緊急措置として配合飼料購入費の一部（飼料メーカーの製造コスト上昇分の1/2）を助成する。 併せて、（一社）埼玉県畜産会に補助金交付に係る事務費を補助する。</p> <p>(2) 事業計画 配合飼料価格高騰農家支援事業 令和4年度 配合飼料県内仕向数量(試算)206,300トン 生産者への助成金500円/トン</p> <p>(3) 事業効果 急激な配合飼料価格高騰を受けて状況が悪化した畜産経営の維持が図られる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 （一社）埼玉県畜産会と連携し事業実施</p> | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰対応分） （国10/10・県0） | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | なし | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | 9,500千円×1.0人=9,500千円 | | | | | | | | | |
| 補正要求額・審査額 | 国庫支出金 | | | | | | 一般財源 | 補正後の予算額 | 当初予算額 | 現計予算額 |
| 決 | 107,452 | 107,452 | | | | | 0 | 107,452 | | |
| 要 | 103,326 | 103,326 | | | | | 0 | 103,326 | うち一財 | うち一財 |
| 現 | 0 | 0 | | | | | 0 | | | |

【審査の考え方】

配合飼料価格の高騰下において畜産経営の維持を図るため、県内畜産農家に対して国の配合飼料価格安定制度で措置されない価格上昇分の一部を補助する必要性を認め、要求額を措置した。

令和 4年度予算見積調書(6月補正予算 (第2号))

課室名 生産振興課
担当名 総務・野菜担当

内線 4082

単位：千円

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | |
|--------------------------|---|---------|----|--|--------|-----|---------|-------------------------|-----------|---------------|
| B 2 | 省エネ型施設園芸産地育成緊急対策事業 | | | 一般会計 | 農林水産業費 | 農業費 | 園芸農産振興費 | 埼玉園芸生産力強化支援費 | | |
| 事業期間 | 令和 4年度 | 根拠法令 | なし | | | | 針路 | 12 儲かる農林業の推進 | SDGsゴール | 2 |
| | | | | | | | 分野施策 | 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立 | SDGsターゲット | 2-1, 2-3, 2-4 |
| 1 事業概要 | <p>経営費に占める暖房用燃油の割合が高い施設園芸において、燃油高騰の影響を最小限にするためには、緊急かつ機動的に、燃油高騰の影響を受けにくい省エネ型施設園芸への転換を図る必要がある。</p> <p>このため、施設園芸農家に対し、燃油使用量の削減に必要な省エネ機器・資材・種苗等の導入に係る経費を補助する。</p> <p>省エネ型施設園芸産地育成緊急対策事業 430,010千円</p> | | | 5 事業説明 | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 | <p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰対応分） （国10/10・県0）</p> | | | <p>(1) 事業内容 省エネ型施設園芸産地育成緊急対策事業 430,010千円 燃油使用量の削減に必要な省エネ機器・資材・種苗等の導入に係る経費を補助する（補助率1/2）。併せて、(2)のア～ウの事業費(421,578千円)の2%を上限として、事業推進に係る経費をJA等に補助する(定額)。</p> <p>(2) 事業計画 省エネ型施設園芸産地育成緊急対策事業 430,010千円 ア 省エネ機器導入支援 343,728千円 イ 被覆資材導入支援 51,900千円 ウ 品種・品目の転換に必要な種苗費支援 25,950千円 エ 事業推進費補助 8,432千円</p> <p>(3) 事業効果 事業導入施設における燃油使用量の削減率 16.0% (R3基準年) 全県の燃油使用量の削減率 6.5% (R3基準年)</p> <p>(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 国燃油高騰対策の事務局である埼玉県燃油価格高騰緊急対策協議会(JA埼玉県中央会、全農さいたま)等と連携し、事業を円滑に運営。</p> | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 | なし | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 | 9,500千円×1人=9,500千円 | | | | | | | | | |
| 補正要求額・審査額 | 国庫支出金 | | | | | | 一般財源 | 補正後の予算額 | 当初予算額 | 現計予算額 |
| 決 | 430,010 | 430,010 | | | | | 0 | 430,010 | | |
| 要 | 430,010 | 430,010 | | | | | 0 | 430,010 | うち一財 | うち一財 |
| 現 | 0 | 0 | | | | | 0 | | | |

【審査の考え方】

省エネ型施設園芸への転換を促進するため、県内施設園芸農家に対して省エネ機器や資材等の導入経費を補助する必要性を認め、要求額を措置した。